

昭和五十一年（一九七六）福祉のまちづくりの一環として、都留市朗読奉仕員養成講座が開かれました。その折、受講した有志が集い、広報を録音して目の不自由な方へ「声の広報」としてお届けしよう、翌年（一九七七）ボランティアサークルひびきの会を発足しました。

当初は器械の操作にまごついたり、マイクの前で声を出すことができなかったりの繰り返しでしたが、毎月広報を録音し、テープを郵送して今年で二十五年になります。

より聴きやすいテープにしたいと学習を重ね、朗読奉仕員養成講座を開催し会員を募り、現在は二十四名です。

会では活動するための目的として次の三本の柱を立てました。

○視覚障害者や高齢の方も共に等しく都留市を知り、一人ひとりが市のあり方を考えていくことができるように、親しみやすいテープをお届けすると共に、福祉施設などでの活動を積極的にこなす。

○都留の民話や伝説を掘り起こして、わかりやすくひととき伝承していく。

○戦争を知らない子どもたちへ、朗読を通して平和の大切さ、命の尊さを考え、語る。

このような活動を実践している中で、朗読を聴いた市内の小中学校では、先生の指導で民話の場所を尋ね、劇として発表するという成果をみました。また、テープを聴かれた方から直接お話を聞いたり朗読技術の一段のレベルアップにと古文に取り組み、日本語の美しさを味わいながら、読みきかせや、情報を正確に伝える努力をしております。

今後とも広い活動をと議会だよりもお届けします。朗読、読みきかせ、音訳に関心をお持ちの方は、どなたでも気軽に「ひびきの会」へご参加ください。

研修日 毎月第二火曜日 午後一時三十分から

録音日 毎月五日（班体制）

場 所 いきいきプラザ都留内

研修室・点字録音図書室

問合せ

代表 板倉圭子 ☎(43) 6 2 8 8
 事務局 山本和子 ☎(43) 0 2 3 7
 都留市社会福祉協議会 ☎(46) 5 1 1 5



ひびきの会のみなさん



介護情報 介護相談コーナー

今月は、高齢者の介護などでお悩みの方の相談窓口を紹介します。

都留市の在宅介護支援センター（高齢者相談窓口）は次の○印3カ所があります。

①地域型在宅介護支援センター

○谷村地域在宅介護支援センター（谷村・三吉・開地地区）
市役所の入り口に入ってすぐ左手にあります。

○在宅介護支援センターよこぶき荘（禾生・盛里・宝地区）
特別養護老人ホームよこぶき荘内にあります。

②基幹型在宅介護支援センター

○都留市総合在宅介護支援センター（いきいきプラザ都留内にあります。）

①地域型の在宅介護支援センターは住民の皆さんが相談しやすいように地域の中に設置されています。東桂地区につきましては、都留市総合在宅介護支援センターをご利用ください。ただし、必ずしも自分の住む地区の在宅介護支援センターに相談しなくてはいけないというものではありませんが、家を空けることができず電話で相談いただいた場合などは、担当地区の支援センターの職員が訪問いたします。

各在宅介護支援センターでは次のような業務を行っています。

寝たきりの方や痴呆性老人の介護相談、介護保険の申請、各種サービスの情報提供など。

相談は窓口へ直接来て頂いても結構ですが、電話でも受け付けております。介護者一人であるいは家族だけで悩まずに気軽にご相談いただき、介護者の身体的、精神的負担を少しでも軽減できればと思います。

都留市総合在宅介護支援センター 都留市下谷2516-1いきいきプラザ都留内 ☎(46)5114

谷村地域在宅介護支援センター 都留市上谷1-1-1市役所内 ☎(43)1111 内線(135)

在宅介護支援センターよこぶき荘 都留市川茂328-4 ☎(45)8686

なお、夜間、祝祭日のいきいきプラザ都留への電話相談は在宅介護支援センターよこぶき荘へ転送になります。

